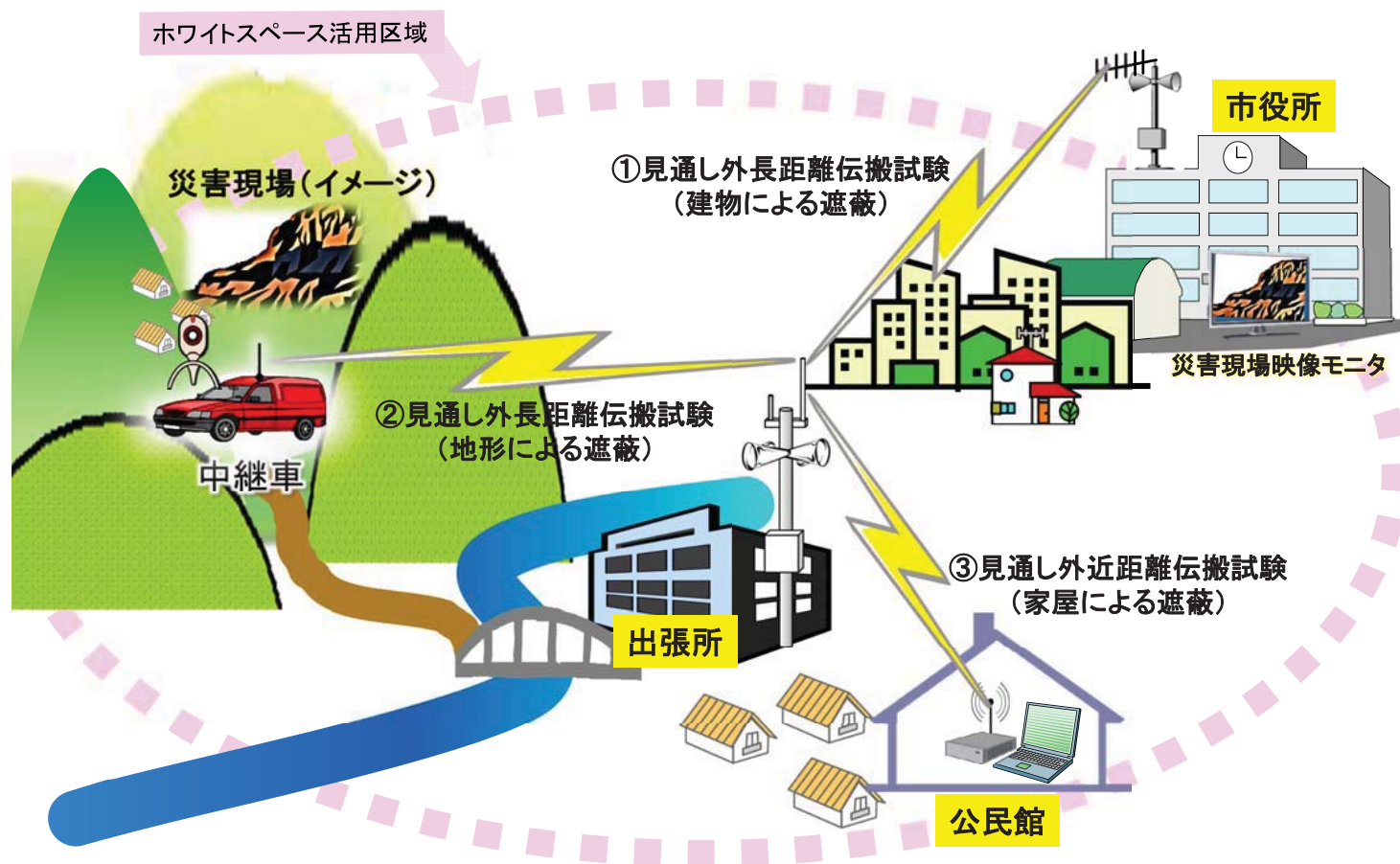


ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システム 公開試験イメージ図



ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システム 公開試験概要

① 試験機器による見通し外長距離伝搬試験（建物による遮蔽）

えびの市役所と真幸出張所の間（約4.5km）で河川監視カメラ映像データ等の伝搬試験デモを行う。
建物による遮蔽で見通し外であるため既存の2.4GHz無線LANでは通信できない市役所－出張所間について、地デジのホワイトスペース（600MHz帯）を使用した試験機器による伝搬試験を実施する。

② 試験機器による見通し外長距離伝搬試験（地形による遮蔽）

真幸出張所に設置したアクセスポイントを介して、試験機器を搭載した移動車両と市役所の間で、監視カメラ映像（動画）データ等の伝搬試験デモを行う。

地形による遮蔽のため既存の無線LANでは通信が不可能な深山間部で土砂崩れ等の災害が発生した場合を想定し、監視カメラを搭載して現場に向かう移動車両から市役所への試験機器による災害現場映像等の伝搬試験を実施する。

移動車両からは、同時に2.4GHz無線LANによる映像データ伝送も実施し、試験機器との比較により地形による遮蔽に強いUHF帯ホワイトスペース活用の有効性を実証する。

③ 試験機器による見通し外近距離伝搬試験（家屋による遮蔽）

真幸出張所に設置したアクセスポイントを介して、試験機器を屋外から屋内（東内堅公民館）に移動しながら市役所との間で映像データ等の伝搬試験デモを行う。

同時に、2.4GHz無線LANによる映像データ伝送も実施し、試験機器との比較により家屋（屋根瓦、外壁）による遮蔽に強いUHF帯ホワイトスペース活用の有効性を実証する。